

2024年5月8日
東邦アセチレン株式会社

水素製造設備の生産能力増強について

～需要拡大に対応し、安定供給を実現するために水素発生装置を導入～

東邦アセチレン株式会社(本社:宮城県多賀城市、代表取締役社長:池田悦哉、以下当社)は、グループ子会社である東邦酒田水素株式会社(本社:山形県酒田市、出資比率:東邦アセチレン100%)において、水素製造設備の生産能力増強のため水素発生装置を導入することを決定しました。投資金額は約10億円。

水素は地球温暖化防止に向けた脱炭素化を担うエネルギーとして期待されており、半導体や燃料電池、エレクトロニクスなどさまざまな分野で使用され、今後もさらなる需要拡大が見込まれています。

当社では、半導体やエレクトロニクスをはじめ今後の水素ガスの可能性を見据え生産能力を増強することで、高まる需要への対応と安定供給体制の確立を目指し、当社が目標とするサステナブルな社会の実現に向けて取り組みます。

東邦アセチレングループは、本計画の実施により、旺盛な需要拡大に対応し安定供給を図ることで、水素事業の拡大と収益力の強化を図っていきます。

【水素発生装置の概要】

設置場所：東邦酒田水素株式会社(山形県酒田市)

発生方式：都市ガス水蒸気改質法

設備能力：300Nm³/h×2基

稼働開始：2025年8月予定

＜東邦酒田水素株式会社＞

本社・工場：山形県酒田市大浜一丁目4番88号

設立：2002年4月1日

事業内容：水素ガスの製造



東邦酒田水素株式会社

以上